

第2学年 算数科学習指導案

1 単元名 「三角形と四角形」

2 単元指導計画

次	時	主な学習内容
1	1～4	定義に基づいて、三角形と四角形を正しく弁別したり、三角形や四角形を作図したりする。
2	5～7	長方形、正方形の用語とその定義、性質について理解する。
3	8～9	直角三角形の用語とその定義を理解し、図形を弁別する。また、長方形、正方形、直角三角形をかく活動を通して、長方形、正方形、直角三角形についての理解を深める。
4	10～11	基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。

3 本時について (11 / 11)

(1) ねらい

作図をするプログラムを考える活動を通して、長方形、正方形、直角三角形についての理解を深め、コンピュータを利用して意図した長方形、正方形、直角三角形をかくことができる。また、コンピュータに意図した動きをさせるためには、明確な手順を示す必要があることを理解することができる。

(2) 評価規準

「Scratch」を利用して、意図した長方形、正方形、直角三角形をかくことができる。(知識・技能)

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助 (留意点)
つかむ	<p>1 本時の学習内容に問題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングで図がかけられることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムは順番に命令通りに実行されることをおさえる。 ・方眼の直角を利用することで長方形、正方形、直角三角形がかけられることを確認する。 ・頂点と頂点を直線で結ぶことで作図できることをおさえる。 ・プログラミングをするときは、命令を正しい順番に並べることが大切であることをおさえる。 ・プログラミングが進まない児童には、途中でもプログラムを実行できるようにし、次に何をすればよいのか視覚的に捉えられるようにする。
ふかめる	<p>2 学習課題を設定する。</p> <p>長方形、正方形、直角三角形をかくプログラムを考えよう。</p>	
	<p>3 課題解決の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長方形、正方形、直角三角形の定義を確認する。 ・「Scratch」で直線をかく操作方法を知る。 	
	<p>4 個人で追究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直線をかく命令を積み重ねれば、三角形や四角形がかける。 ・辺の長さに気を付けてプログラミングをしよう。 	
	<p>5 全体で話し合い、課題を解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの辺の長さが3cmと4cmの長方形をかくことができた。 ・1つの辺の長さが4cmの正方形をかくことができた。 ・直角になる2つの辺の長さが2cmと3cmの直角三角形をかくことができた。 ・プログラムを変えるといろいろな図形をかくことができる。 	
	<p>6 学習をまとめる。</p> <p>へんをかくめいれいを正しいじゅんばんにならべると、長方形、正方形、直角三角形をかくことができる。</p>	
まとめる	<p>7 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングで長方形、正方形、直角三角形をかくことができた。他の図形もかいてみたい。プログラミングをするときは、命令を正しい順番にならべるとよいことが分かった。 	